Niigata Seiki

取扱説明書

品番	GC-150C・GC-200C

精密測定器保持具

石製コンパレータスタンド

この度は「石製コンパレータスタンド」をお買上げ頂きありがとうございます。この商品は、ダイヤルゲージ、電気マイクロメータなどφ8ステムの測定器を保持し、ワークの外径・厚さ・段差などを測定する測定補助具です。

●正しく安全にお使い頂くため、ご使用の前に本取扱説明書を必ず読み、記載の手順に従ってご使用ください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる場所に、大切に保管してください。

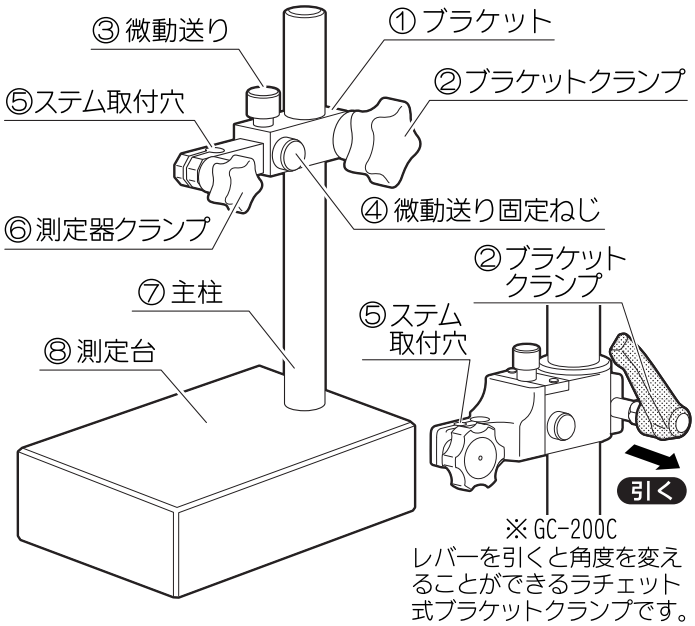
●第三者に譲渡・貸与される場合も、この説明書を必ず添付してください。

●当商品に関するお問い合わせは、お買い求めの販売店もしくは当社にご連絡ください。

安全上のお知らせ

この説明書は、必ずお守り頂きたい強制事項に◎マークを付けて表示しています。

■各部の名称と機能　※GC-150C



※GC-200C
レバーを引くと角度を変えることができるラチェット式ブラケットクランプです。低い位置などでの使用に。

①ブラケット …… 測定器を取り付け、上下に移動します。

②ブラケットクランプ … ブラケットを締め付けて、主柱に固定するクランプです。

③微動送り …… ステム取付穴に差し込んだ測定器の上下位置を微調整します。

④微動送り固定ねじ … 締め付けると微動送りが固定されます。

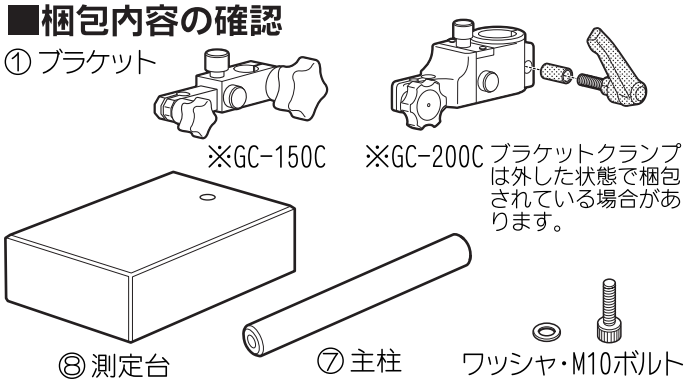
⑤ステム取付穴 …… 測定器のステムを差し込む取付用の穴です。

⑥測定器クランプ …… ステム取付穴に差し込んだ測定器のステムを、締め付けて固定するクランプです。

⑦主柱 …… ブラケットを支える柱です。

⑧測定台 …… ワークを置く台です。
使用を繰り返すうちに磨耗しますので、ご使用前に毎回、ブロックゲージを使用して磨耗確認を行ってください。

■梱包内容の確認



上記の物が揃っているか確認し、部品が足りない場合は、お買い求めの販売店もしくは当社までご連絡ください。

■組み立て方

※組み立てには、六角棒レンチ8mmが必要です。

※ブラケットクランプが外した状態で梱包されていた場合は、最初にブラケットクランプをブラケットに取り付けてください。

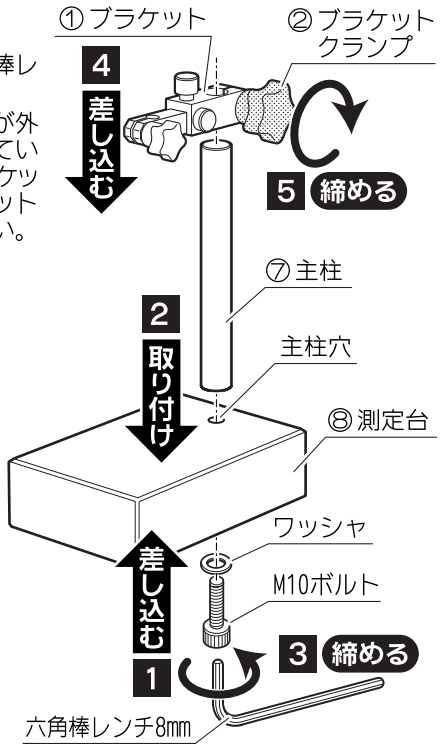
①ワッシャとM10ボルトを図の順番で測定台裏の主柱穴へ差し込みます。

②主柱を取り付けます。

③六角棒レンチ8mmでボルトを締め、測定台に主柱を固定してください。

④ブラケットを主柱へ差し込みます。

⑤ブラケットクランプを締めて、ブラケットの位置を固定します。



製品仕様

●材質
測定台…花崗岩
主　柱…スチール
ブラケット…アルミ

品　番	ヘッド上下有効ストローク	ベース平面度	ステム取付穴	微動送り上下ストローク	質　量
GC-150C	0～150mm	2μm	φ8mm	3mm	約2.4kg
GC-200C	0～250mm	2μm	φ8mm	8mm	約6.9kg

安全上のご注意 必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守り頂くことを下記のように説明しています。

⚠注意 誤った使い方をした場合に『**傷害**を負う、または**物的損害**が発生するおそれがある内容』です。

◎ **取扱説明書をよく読み、指示に従う。**
・取扱説明書に記載された内容以外での使用は、事故の原因となります。

◎ **測定作業にのみ使用する。**
・指定用途以外へのご使用は、製品の破損や磨耗、予測できない事故の原因となります。

◎ **下記の条件を満たす環境で使用する。**
●雨や水、油などがかからない、乾燥した場所
●温度変化の少ない場所
●切粉や粉塵が発生しない場所
●振動やガタツキのない水平な場所
●子供や、使用者以外が近付かない場所
・上記に反する場所での使用は、精度不良や製品の破損、事故やけがの原因となります。

◎ **本器は大切に取り扱う。**
・落下などの衝撃を与えないでください。精度不良や製品の破損の原因となります。
・測定台に水や油が付着した場合は長時間放置せず、柔らかい布などで拭き取ってください。

◎ **測定台上面の傷に注意する。**
・傷防止のため、ワークは静かに測定台へ載せてください。また、鋭利なものは載せないでください。

◎ **測定器を取り付けている時は、ブラケットクランプをしっかりと締めて固定する。**
・ブラケットクランプの締め付けがゆるいと、ブラケットごと測定器が落下し、測定器の故障・破損・精度不良の原因となります。

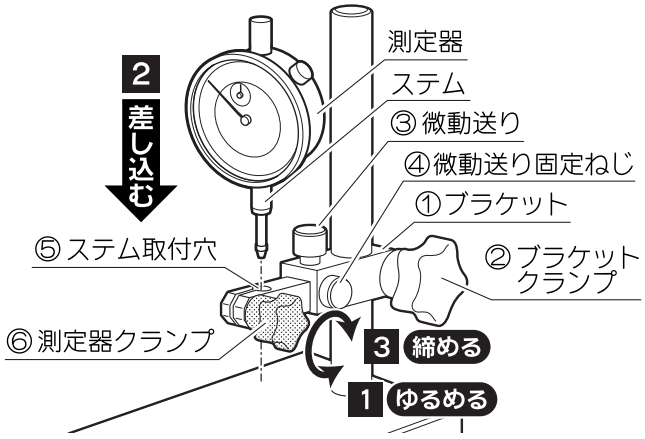
◎ **使用後は指示に従って防錆処理を行う。**
・錆防止のため、使用後は「使用後のお手入れ･保管方法」に沿って手入れを行ってください。

使用方法

①測定台に汚れ、傷、ガタツキなどが無いか確認する
汚れは柔らかい乾いた布か、アルコールを少量含ませた布で拭き取ってください。ガタツキや、測定台上面に傷がある場合は精度が出ないため使用を中止してください。

②ブラケットの動きがスムーズである事を確認する
ブラケットクランプをゆるめ、ブラケットを上下させます。動きがスムーズで無い場合は、主柱やブラケットの汚れ、錆などを取り除いてください。

③測定器をブラケットに取り付ける
ブラケットクランプをしっかりと締めます。
測定器クランプをゆるめて、ステム取付穴に測定器のステムを差し込み、測定器クランプを再度締めて固定してください。



④測定する
1. ワークや測定器の測定子にごみ・埃・汚れなどがないことを確認し、ワークを測定台の上に置きます。
2. ブラケットを手で支えながら、ブラケットクランプをゆるめ、おおよその高さに合わせてブラケットクランプを締めます。
3. 微動送りねじで高さを微調整し、任意の位置に合わせたら微動送り固定ねじで固定し、測定を行ってください。

※測定開始前に、下記手順に従って測定台の磨耗状況の確認を行ってください。

測定台の磨耗状況の確認

測定台は使用を続けると磨耗します。
毎回のご使用前に磨耗状況の確認を行ってください。

①信頼できる測定器を取り付けます。

②ブロックゲージを測定台の上に置いて数点測定し、**お客様の測定に影響するような数値変化が無いか確認してください。**
数値変化がお客様の測定に影響する状態になったら、磨耗状況が大きいため使用を中止してください。

性能の劣化は、使用の頻度・環境によって大きく異なります。お客様の社内規格に準じた周期で、定期点検を行うことをおすすめ致します。

使用後のお手入れ･保管方法

◎ **測定台の汚れは柔らかい乾いた布か、アルコールを少量含ませた布で拭き取る。**
硬いブラシなどで汚れを落とすと測定台に傷がつき、精度不良の原因となるのでおやめください。

◎ **主柱やブラケットの汚れを落としてから保管する。**
主柱やブラケットは柔らかい布などで汚れを拭き取り、湿度の少ない環境で保管してください。

発売元 新潟精機株式会社
〒955-0055 新潟県三条市塚野目6丁目15番22号
☎(0256)31-5660(代) FAX(0256)39-7730
URL http://www.sokuteikougu.com

I193-K 1311